

# 基本方針

生き抜く力100%委員会委員長 安本 義洋

東日本大震災、熊本大地震、この先起こることが考えられる南海トラフ大地震、私たちが住む堺市・高石市も震源地に近く、影響が大きいことが予想されます。その中で、物資や施設を整備して災害対策をとることは大事ですが、地域に住む人々が人と人の繋がりを通じてお互いの感謝や助け合いの心を養い自助や共助の精神を持ち続けることが必要です。

まずは、人との繋がりが大切であることを知ってもらうために、限られた環境の中で行動して考える機会を提供することで、一人では成しえない問題があることに気づいてもらいます。そして、協同して助け合うことの大切さを知ってもらうために、困難な問題を乗り越える機会を提供することで、互いの力を合わせ問題を解決できることに気づいてもらいます。さらに、限られた環境の中で工夫し、どう行動していくかを考えることにより、人間関係を形成する力が育めると同時に対応力も身に付きます。そして、生きる力を養うために、実際に起きた災害がどのようなものかを知ってもらい、一人ひとりの防災に対する意識を高めます。そのなかで、人と人とのより強い繋がりや助け合いの精神が重要だということを、地域の人たちに発信し共有していく機会を提供することで自助や共助の精神を持ち続けることができます。

また、大納会第二部では、これまでのJC活動で繋がった先輩方を感謝の意を持ってメンバー全員で送り出します。大納会は先輩方の最後の有志を拝見する場でもあり、人との繋がりの中でもあります。これまで共に成し遂げた事業を振り返り、よりよい形で次年度へ繋げられるようメンバーが一丸となって、事業を構築します。

堺市・高石市に住まう人たちが人の繋がりを何より大切にして、他者に共感し思いやりや感謝の心、助け合いの精神を持つことで人の繋がりをより強くし活気ある地域の創生につなげます。また自助や共助の精神を一人ひとりが持ち続けることで、あらゆる困難にも対応できるまち、堺市・高石市を実現します。